

山田クリニック ぽすと

平成26年 8 月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-22-7005 Fax 21-3981

<http://www.hikone-yamadacl.com>

受付から

さて、がん治療についての続きですが、がんの治療法に、手術、抗ガン剤、放射線治療の3種類があることはご存知かと思います。現在の治療では、この三種類を出来る限り有効な方法で組み合わせて治療が行われます。そのため、どれか一つだけの治療で終わる場合は、早期発見されて再発の危険性がない場合か、末期がんであり他の治療を行えない場合のどちらかになります。そのため、多くのがん患者では手術+抗ガン剤、抗ガン剤+放射線療法、手術+抗ガン剤+放射線療法などの組み合わせで治療がおこなわれます。このような治療法の組み合わせが必要になる理由は、がんの再発、転移の予防が必要なためです。CT スキャンをはじめとする放射線の診断で、がんの塊については2-3ミリ程度のもので分かるようになってはいますが、がん細胞が体に残っているかどうかは調べる方法がありません。手術でがんの塊はすべてとれたとしても、がん細胞が残っていれば、再発、転移の危険性は残ります。そのため、これらの治療法を組み合わせでがん細胞自体が体からなくなるように治療を行うのです。

検査室より

脱水症に気をつけましょう！！

いよいよ夏本番となってきましたが、毎年言われるのが『脱水』です。お子さんや炎天下での作業に従事しているのならともかく、高齢者が昼間に出歩くことは少ないと思いますが、多くの方が脱水を起こして医療機関にお見えになります。その際やどの情報にもこまめな水分補給と適量の水分補給を言われます。ではいったいどれくらいの量が必要で、どのタイミングで飲むのがいいのでしょうか？人は1日に体から出る水分は、尿が約1,000~1,500ml、便が約900ml、生理的に失われるものが約100ml。合計、2,000~2,500mlもの水分が失われています。一方、食事から摂取する水分は約1,000ml、体内での代謝水が約200mlだということを考えると、飲料水として必要なのは1日約800~1,300mlになります。ただし、腎機能や心機能に異常があって水分を制限されている人は、医師の診断に従うようにしましょう。それでも、一度にがぶ飲みしてしまっただけでは意味がなく、たくさん飲むと、喉の渇きは癒されますが、過剰の水が胃に負担をかけ、胃液を薄めてしまいます。そのため消化不良を起こし、よけいにばててしまいます。

飲むなら、1回200ml程度を何度かに分けて摂取すること。

1日のサイクルとしては、朝目覚めたとき、午前10時と午後3時のおやつするとき、入浴前後、寝る前などにコップ1杯ずつの水を飲むこと。これ以外に1日3回の食事のときにも1杯ずつ飲めば、1日1,600ml程度の水分が補給できる。そのほか、家庭でのどんな作業前にも軽く一口水分補給！終了してからも一口というように、こまめな水分補給が健康のカギを握っているのです。

診察医のご案内

	月	火	水	木	金	土
午前	吉田	山田	吉田	山田	山田	山田
午後	吉田	吉田	×	×	吉田	×

午前診察 9:00~12:00 休診日：日曜・祭日

午後診察 4:30~6:30

ご連絡

夏季休暇として
8/14(木)から8/16(土)は休診
します。

『はるのうみ』とは日程がずれて
おります。ご注意ください。

